

長崎ギター音楽院会報誌

LUDERE

ルデレはラテン語で、遊ぶ、演奏する、語る、楽しむなどを意味することばです。
ギターを手に心を語り、クリエイティブに音楽表現を楽しむ、そんな想いが込められています。

2020
9

創刊号

長崎ギター音楽院 新体制スタート



特集 「山下光鶴新院長に聞く」

レッスンクローズアップ
「ソルフェージュ・楽典」

サークル紹介

コンサートレポート

池浦編集長連載コーナー ほか

ごあいさつ

長崎ギター音楽院は、昨年夏に山下亨・前院長が病に倒れ、先行きの見えない時期が続いた後、私が帰国を決め、ようやく新体制で活動をスタートしようとしたタイミングで、今度はコロナ禍に見舞われました。一時は本当にどうなるのかと、皆様にもご心配をおかけしましたが、生徒の皆様のご協力と持ち前の明るい雰囲気に救われ、7月よりレッスンを再開、新レッスンも一挙にスタートさせました。まだまだ少人数限定での活動しかできない状況ではありますが、今日もマスクとともにギターをかき鳴らしております。手に本場のラテンリズム奏法を仕込みつつ、頭フル回転で楽典を紐解きながらオリジナルメロディーを作ったりと、「新しい生活様式」への移行の裏で、音楽院の響きも大きな変化を迎えています。旧知の癖をうまく懐柔しつつ細かに音作り、笑いのたえないレッスン、次また舞台で発表できる日を心待ちにしつつ練習にはげみます。

特集

山下光鶴 新院長に聞く

現場所で長崎ギター音楽院がオープンして半世紀。新院長となった山下光鶴先生にインタビューを行いました。

聞き手 佐藤純子、池浦恒信



池浦：ベルリンに7年間留学され、広くヨーロッパで研鑽や活動をされてこられたとのことですが、とりわけ印象に残っていることは何ですか？

山下：高校卒業後、受験のため渡独し、ベルリン芸術大学へ入学するのですが、受験後の夏休みに、カルロ・ドメニコーニ先生が行っていた小さな講習会に参加したことが自分にとって大きな転機であったと思います。特に、先生の友人でゲストとして招かれていたアルゼンチン人のギタリスト、リカルド・モイアーノとの出会いが衝撃的でした。彼は、ラテン音楽の驚くべき名手であると同時に、スペイン古楽などのクラシックのレパートリーを即興も交えながら弾きこなす奇才で、彼の音楽性、音楽する姿勢に強烈に惹かれましたね。

その後、いろいろな国のアーティスト（音楽だけでなく、美術や舞踊などとも）とコラボレーションをしたりしてきましたが、彼らから学んだ自由な音楽解釈や、様式をアレンジする意欲というものが、僕の音楽活動の中で大きな意味を持っていると思います。

池浦：山下和仁ファミリーで育ち、既に高度なテクニックは習得していたでしょうが、新たなテクニックの発見や収穫はありましたか？

山下：父は、レッスンをして何かを細かに教えてくれるということがなかったため、カリキュラムやテキストなどもなく、家にあった色々な楽譜をあさってがむしゃらに弾き込んできたのと、家族でアンサンブルする中で学んで来たものが多くたですね。

渡独してからは、大学などで教えられているクラシックギター特有の固定的な弾き方からよりも、南米のギタリストやチャランゴ奏者などから各国の様々な奏法を教えてもらう中で、ギターの弾き方の広がりを感じ、より柔軟で変化に富んだギターの表現力に気付かされたのが大きな収穫だったと思います。

佐藤：ドイツから長崎へ、新院長になろうと思った動機は何ですか？

山下：昨夏、祖父・山下亨が病に倒れた際のピンチヒッターとして、長崎ギター合奏団の指揮を務めたのですが、その際に感じた合奏団の演奏への情熱に気持ちを動かされました。ベルリンを拠点にヨーロッパやアジアで様々な音楽活動の形に触れ、音楽教育にも携わるなかで、実際は現在のクラシック音楽文化の在り方や音楽教育の方向性に疑問を感じることが多かったのですが、そんななか訪問した長崎ギター音楽院では他とは違う雰囲気、可能性を感じました。ド

イツを離れることは、かなり苦渋の決断でもありました。自分の音楽活動をコミットするだけの意味があると直感的に感じられたのと、音楽院を存続させたいという想いに後押しされましたね。

佐藤：言葉は、簡単な会話も含めて何か国語くらい話せるようになりましたか？

山下：流暢に話せるのは英語とドイツ語ですね。友人たちと話すうちに、中国語やイタリア語を片言覚えたのと、あとはスペイン語。南米のギタリストに頻繁にラテンの曲を教えてもらっていたのですが、彼らは話が白熱してくるといつの間にか母国語で話していることが多くて、そのせいかスペイン語は聞いたらけっこう見当が付くようになりました。喋りはできないですが。

池浦：長崎の好きなところなど、聞かせてください。

山下：最近、長崎に戻ってきてサークル活動などで各地を回るなかで、長崎にこんなところがあったんだ、長崎は意外と広いんだなと思うことが多いです。豊かな海や、山に囲まれ、歴史的事情も相まってか、人も開放的であるように思います。これから、音楽を通して長崎の歴史文化に焦点を当てたり、海外のアーティストともつながったりと、長崎に再び国際的な広がりを創っていくらだと考えると、わくわくしますね。

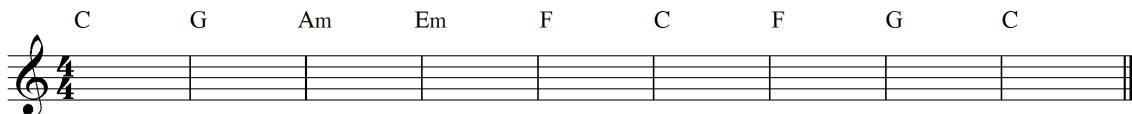
ギタリスト・コンポーザー 山下 光鶴（てるかく）プロフィール

音楽一家に生まれ、幼い頃から音楽教育を受けた後、クラシック音楽の名門、ベルリン芸術大学に留学、クラシックギターと作曲を学ぶ。同時に、ギタリストコンポーザーのカルロ・ドメニコーニ氏に師事。また、アルゼンチンやエクアドル出身の南米folkloreの名手たちより教えを受ける。以降ベルリンを拠点に、ヨーロッパやアジア各地でギタリスト、作曲家として活動。また、ベルリンの複数の音楽学校で教える。2020年6月、7年間のドイツ生活より帰国。長崎ギター音楽院院長として、長崎での音楽教育、音楽環境創造に重点を置きながら活動中。

レッスンクローズアップ ソルフェージュ・楽典

今年7月から、毎週土曜日午後に開講しているソルフェージュ・楽典レッスンでは、音階や和音の成り立ちについて学びながら、はやくも作曲をはじめています。「音楽は言葉なんだ」と実感して、アドリブや作曲を言葉を話すようにできるようになれば、音楽する楽しみはうんと広がるし、演奏している曲についても今まで違う風景が見えてくる。生徒さんにその楽しさを伝えたい、そんな想いで作成しているオリジナル教材では、とにかく実際に音楽を作つてみることを重視。和音の基礎を理解したらすかさず、実際にいろいろな和音モデルにメロディーをつけてみる。レッスン中にいくつもメロディーを作つてお互いに聴かせ合う時間、各々の個性・センスが光りますね。

Let's Try ~カノン進行にメロディーをつけてみよう~



◆下の解説を読んで、このカノン進行にメロディーをつけてみましょう。

Step1：和音と最も相性の良い音=和音構成音を書き出してみる

和音は、基本的にある音（ルート／根音といいます）をその音から数えはじめて1番目、3番目、5番目の音（3つ合わせてトライアドと言う）で構成されています。まずは和音ごとにトライアドを書き出してみましょう。

例：C→ド ミ ソ、G→ソ シ レ



Step2：書き出したトライアドを使ってメロディーの大枠を描く

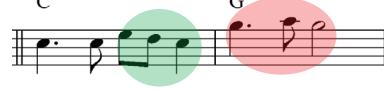
4分音符や2分音符など、音価の長い音符を使って小

節のリズムパターンを作り、トライアドから音を選んで当

てはめていきます。

Step3：リズムをさらに分割しながら転位音を使ってメロディーを修飾する

音符を分割しながら、音の反復あるいは転位音（トライアドに隣り合う音をメロディーに織り込む技法）を使ってメロディーを修飾していきましょう。まずは、比較的容易な刺繡音（あるトライアド音からまた同じ音にもどる）と経過音（2つの異なるトライアド音の間をつなぐ音）を使います。



同じ要領で、ぜひ最後までオリジナルメロディーを作つてみましょう。出来上がったら、誰かに和音伴奏を頼んで一緒に弾いてみましょう。

サークル紹介

ギターサークル・コンドル始動

雲仙市の「愛の夢未来センター」で新たなギターサークルが誕生しました。2月に行われた「ギター体験会」へお越しいただいた高石さん(千々石町)の発案が結成のきっかけ。4月には早くも活動をスタートしました。山美しい雲仙・島原方面でのギター音楽の飛翔を願って「ギターサークル・コンドル」と命名。(後日、ダジャレ好きの某氏からコンドル→混んどるの語呂を褒められました)。今後の発展が楽しみです。



ギターサークル・コンドル活動概要

- 活動日時：毎週金曜日 14:00～15:30
- 活動場所：愛の夢未来センター 研修室
- 講 師：山下光鶴 佐藤純子
- 問合せ先：長崎ギター音楽院

新システムのご案内

長崎ギター音楽院では、本年4月より従来の個人レッスン、合奏団員などと細かく分かれていたレッスン受講のシステムを、3つのカテゴリーに分かれた会員制へと改正しました。改正の意図は、

- 1) 今シーズンより開講しているレッスンの種類が一層増えたので、その全体を俯瞰しやすいわかりやすい形にすること、
- 2) 生徒のみなさんが興味・関心や時間の都合に応じて様々なレッスンに気軽に参加できるシステムにすることの2点です。

新システムでは、音楽院で通常開講しているレッスンのすべてが、

- A) 個人・少人数レッスン、
B) アンサンブルレッスン、
C) サークルレッスン のいずれかにわけられ、

A会員は同一会費のままで、B、Cのすべてのレッスンに参加可能

B会員はB、Cのすべてのレッスンに参加可能

C会員はCのすべてのレッスンに参加できるようになっています。

また合わせて、シーズン会費制を導入し、これまでのサロンコンサートや定期演奏会ごとの参加料の徴収をなくしました。新システムの詳細、受講できるレッスン一覧については、折り込みのパンフレット、またはウェブサイトなどでご確認ください。

	サークル	アンサンブル	個人
A会員	○	○	○
B会員	○	○	
C会員	○		

コンサートレポート 山下光鶴コンサート(7/26)



いとのことでした。その後、即興演奏から始まり、前半はヨーロッパの舞曲。バッハも交えながら、牛を見張れ、フォリアなどの主題がラスゲアード交えて即興的に変奏されました。後半は舞台を南米に移しスペインから持ち込まれた西洋音楽が、アンデスの現地民族の音楽、さらに地域特有のリズムと融合し、チリ、アルゼンチン、ペルー、ベネズエラ、など土地特有の舞曲と発展する様子が演奏により紹介されました。ここでもラスゲアードを交えて即興的に演奏するスタイルは共通ですが、時代と地方によりリズムも雰囲気も変わり、ギターによる表現の多様性が改めてよくわかりました。途中に演奏された萩原朔太郎の詩をイメージした自作の「おぐよひと」も含めて不思議な浮遊感が漂うコンサートでした。参加された方は、普段の日常とは違う雰囲気を味わい、一方で遠い世界の音楽も、いま聞いたり演奏したりしている音楽と繋がっていることに改めて気づいたのではないかと思います。今後のプログラムも期待されます。

池浦編集長連載第1回 「爪（詰め）が大切ですね！」

今回は、ギタリストにとって大事な爪の磨き方についてお話しします。まず、「爪切り」は横割れしたり切り過ぎたりするので、使用しないのがお奨めです。爪は1日で約0.1mm伸びますので、次表を目安に自分に合った仕上げを行ってください。

段階	使用するヤスリ	注意点
荒仕上 (数日に一度)	・金属製ヤスリ、ガラス製ヤスリ ・耐水ペーパー 600番程度 ・ネイルファイル 180番程度 など	削り過ぎないように。 仕上げシロを残し削る。
中仕上 (適宜)	・耐水ペーパー 1200～1500番 ・ネイルファイル 240番 など	綺麗な円弧を作る。 指頭側を平たんに削る。
最終仕上 (毎日)	・使い古しの耐水ペーパー 1200～番 ・牛革(堅いもの) など	◆【重要】 先端と指頭側をピカピカに磨く。

※ネイルファイルは主にネリストが使っているものです。

長崎ギター音楽院 ロゴマーク決定



「新生」長崎ギター音楽院の船出にあたり、長崎ギター音楽院のロゴマークが誕生しました。

ロゴマーク（ギター部分）のデザインは、長崎ギター音楽院生の佐藤優理さん、デジタルデータ化及びタイプフォントの選定は長崎ギター合奏団員の内村灯さんに担当いただきました。山下院長、そして担当されたお二人からコメントを頂いています。

山下院長：素敵なお手本のシルエット、知的かつ推進力のあるデザインをしていただき、喜んでいます。今後、長崎ギター音楽院と歩みを共にする強力な味方、音楽院の発展とともに、広く皆様に周知されてほしいです。

佐藤優理：沢山アイデアを出して、その中から一番バランスが良く、シンプルでわかりやすい物を選びました。色に関しては元から赤色に決めていたので、格好良くなつて良かったです

内村 灯：優理ちゃんが何点か描いてくれたシンボルを使って、様々なフォントとの組み合わせを試しながらデータを仕上げていきました。やはり「クラシック」ギターなので、上品さ・エレガントさはありつつも、フレッシュさ・スマートさを出せるよう意識しました。

最も大事なのはピカピカにすること、最終仕上げが詰め（爪）です。ピックで弾けば誰でも綺麗な音が出ますが、弦と接触し弾く部分が、ピックと同じ滑らかさになつていれば、これでOKです。

磨いたところを光に反射させて、ピカピカになったことを確認してください。耐水ペーパーは薄くて使い難いため、不要になった紳士ベルトなどを5cm程度に切断し台にすれば削り易くなります。

次回は爪の補強について特集します。お楽しみに！

生徒募集

ギターはじめての方から プロ志望の方まで どなたでも！！

長崎ギター音楽院はこれまで国内外で活躍するプロギタリストや指導者を多数輩出してきました。クラシックギターの確かな技術を習得しながら、様々なジャンルの音楽を演奏する、バライティー豊かな音楽院です。

- 奏法と楽典と共に学ぶオリジナルメソッド
- アンサンブルレッスンやグループレッスンも充実
- アドリブや作曲・編曲も本格的に学べる
- 本場のラテン音楽が学べる



〒850-0035
長崎県長崎市元船町7-4 松永産業ビル2階
Tel: 095-823-2766
<https://www.nagasaki-guitar-academy.com/>

長崎ギター音楽院会報誌 Ludere
発行日：2020年9月1日
発行：長崎ギター音楽院
STAFF
監修：山下光鶴
編集長：池浦恒信
編集・デザイン：内村灯

